

No.	020	—	3017	事務事業名	通信指令台の設備に関する事務							公的関与	2
PLAN	課名	警防課		係名	通信指令係		電話番号	089-964-5217		メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	2 消防・救急体制の充実				
	事業の目的	火災をはじめとする各種災害の119番通報を受信し、部隊編成、出動指令等の指令管制業務を円滑に行い、市民の生命・身体・財産を災害から守るため。					根拠法令等						
	事業の手段	消防力の整備指針に基づき整備した消防通信指令システム及び消防救急デジタル無線施設を維持管理します。					掲載計画	第2次東温市総合計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		消防指令システム及びデジタル無線施設等の定期点検		119番の受信から出動指令業務を円滑に行うため。			回	目標		6			
		住民情報データの更新及び修正作業		迅速且つ正確な災害地点の確定を行うため。			回	目標		24			
		職員情報等の維持管理		指令システムを円滑に利用するため。			回	目標		2			
								実績	6	6			
DO	活動内容	① 各種保守点検や委託業務の契約の締結				④							
		② 住民情報データの更新作業				⑤							
		③ 職員情報の更新及び無線従事者の免許申請											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	17,140千円	11,455千円	10,363千円								
	計(A)	17,140千円	11,455千円	10,363千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.318人	1,986千円	0.318人	1,973千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)	17,140千円		13,441千円		12,336千円								
一次評価者	通信指令係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	119番の受信から、出動指令を行う装置であるため、常に安定した運用が必要となります。												
有効性	24時間365日のリモート保守にも対応しており、常に安定した状態で運用できています。												
達成度	119番の受信や、出動指令において、支障をきたさず運用できています。												
効率性	費用が高額であるため、業者との協議において経費削減を図る余地があります。												
当面の課題	迅速な災害地点の把握、適正な出動隊の自動編成、現場活動の把握と支援をコンピューター処理により一元化していますが、整備から15年が経過し機器の老朽化による故障が懸念されます。												
改計画	松山圏域の3消防本部(松山・伊予・東温)で通信指令の共同運用に向けての協議を実施中です。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	通信指令設備は災害の覚知から出動指令を行う重要な設備です。機器が老朽化しておりますが、更新時期まで正常な運用に努めてください。												

No.	020	—	3018	事務事業名	通信指令台への消防水利情報の入力事務							公的関与	2
PLAN	課名	警防課		係名	通信指令係		電話番号	089-964-5217		メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	2 消防・救急体制の充実				
	事業の目的	常に最新水利情報を通信指令システムへ入力することで災害発生時に円滑な現場活動を行うため。					根拠法令等						
	事業の手段	職員による現場確認により、周囲の状況変化等を確認し通信指令システムへ入力します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		既存水利の確認(地図・指令台)		最新地図と指令台を確認し設置状況を確認する。			回	目標			2		
		水利現地調査		常に最新の状態を把握するため。			回	実績	2	2			
		指令システムへの入力		指令台への入力により出勤時に水利情報を共有するため			時間	目標			250		
		実績							306				
活動内容	①	既存水利の確認(地図・指令台)				④							
	②	水利の現地確認				⑤							
	③	指令台入力作業											
DO	予算費目	会計					費目名					費	
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	0千円								
	計(A)	0千円	0千円	0千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.228人	452千円	0.228人	451千円						
全体事業費(A+B)		0千円	452千円	451千円									
一次評価者	通信指令係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	現場活動において迅速な活動を行うには水利情報の管理の必要性は大きいと考えます。												
有効性	迅速な現場活動に繋がっています。												
達成度	予定している水利の調査入力を行えています。												
効率性	調査方法や入力作業の見直しを行い効率化を図ります。												
当面の課題	市内約1000箇所の防火水槽や消火栓の現地調査を行い、修正作業を行う必要があります。												
改訂計画	水利数が多いため、現地調査を積極的に消防隊等に依頼し、担当係はシステムへの入力に専念する必要があります。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	現場の消火活動に支障をきたさないよう、効率の良い消防水利の現地調査と通信指令システムへの情報入力を検討してください。												

No.	020	—	3042	事務事業名	消防指令の共同運用に関する事務							公的関与	2
PLAN	課名	警防課	係名	通信指令係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	令和2年度	～	令和5年度		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	2 消防・救急体制の充実				
	事業の目的	松山圏域3消防本部で消防指令の共同運用を行う事で、スケールメリットにより業務が効率化され、経費が削減できるとともに、消防本部間の連携と情報の共有化が可能となるため。				根拠法令等							
	事業の手段	令和6年4月1日の運用開始を目指し、松山市・伊予消防等事務組合・東温市消防指令事務協議会を設置します。				掲載計画	第2期まつやま圏域未来共創ビジョン						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		消防指令の共同運用に関する基礎調査担当者会議		共同運用の実施可否を検討する基礎調査について検討を行った。		回	目標		12				
		先進地視察研修		既に実施している他都市の視察を行う		回	実績	0	16				
		通信指令の共同化基礎調査		共同化を検討するための基礎資料とするための基礎調査を行った		回	目標		3				
							実績		2				
					目標								
					実績		5						
DO	活動内容	①	消防指令の共同運用に関する基礎調査担当者会議			④							
		②	先進地研修			⑤							
		③	通信指令の共同化基礎調査										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	1,700千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	288千円	36千円								
	計(A)	0千円	288千円	1,736千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.030人	187千円	0.030人	186千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		0千円	475千円	1,922千円									
一次評価者	通信指令係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	現在の通信指令台の老朽化もあり、指令台の更新は急務です。また、共同運用することで、経費削減、サービスの向上が見込めます。												
有効性	今後協議を進めることで、相互応援協定の更なる充実が見込め住民サービスの向上に繋がります。												
達成度	担当者による協議を行い、今後の方向性が確立できました。												
効率性	松山市消防局・伊予消防等事務組合消防本部と連携しながら、国の財政措置等の活用など、効率的な共同整備の検討を行います。												
当面の課題	指令センターへの派遣職員数や整備費用の按分方法を3消防本部で十分に検討する必要があります。												
改計画	派遣職員数を考慮した火災時の出動体制の作成や初期整備費用及び維持管理費用の削減を図ります。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	松山圏域3消防本部で消防指令の共同運用が決定されたことにより、今後協議を進めていくこととなりますが、スケールメリットを活かした共同運用となるよう十分に協議を行ってください。												